

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決！



2011
3
月号



目標を見つけたら素早く飛ぶよ。
—メジロー

あの手この手のマークの間のSは solution(解決)のSです。

大和市民活動センター[拠点やまと] 第 44 号 2011 年 3 月 1 日発行



どんなに
果てしない
夢でも
信じていれば
きっと
いつの日か
叶う日が
やって来る
綿毛に託した
希望が
こうして
花開くように

金子 寿(ひさし)さんの詩画が第 42 号からの表紙に登場。今号が最終回となりました。
ご本人からメッセージが届いています。

作品:「たんぽぽ」金子 寿

私は“不幸”にして障害を負ってしまい、電動車いすの生活
をしています。「死んでしまいたい」と思ったことや「怪我をする
前に戻りたい」と後悔したこともあります。しかし、今では障害を
負ってしまったことは決して“不幸”なことではないと思っていま
す。本当に“不幸”なことは、障害の有無に関わらず、生きる希
望や目的を失ってしまうことだと思います。

これからも詩画を通して、今までお世話になった方への感謝
の気持ち、そして“命の大切さ”や“生きることの素晴らしさ”を多
くの人に伝えていくことができればと思っています。

* 金子さんの詩画のポストカードをご希望の方はセンターにお問い合わせください。

センターのシンボリツリー
大イチョウのひとりごと

上から見ると、辛夷(コブシ)の木はもうた
くさんの花のつぼみ。老木の桜はまだ、
つぼみがない。辛夷の次に桜が咲き、次
に銀杏の私は緑の葉をつける。お互い頑
固に自分のリズムを崩さないのだよ。



2010 年度の「あの手この手」は隔月発行でしたが、2011 年度は毎月
発行とします。4 月号には 2010 年度の振り返り号を付けます。

＜送付の際、同封されているご案内＞

- ・第 39 回連続共育セミナー「市民活動を IT で支援」のお知らせ
- ・第 6 回やまと国際交流フェスティバルのご案内
- ・ボランティア見学会のご案内

* 「あの手この手」は大和市民活動センターの H.P. では
カラーでご覧になれます。

第6回やまと国際交流フェスティバル

大和市民活動センターも 登録団体も参加して Let's 国際交流
3月20日(日)10:30~15:30
大和駅東側プロムナードに集合
ともだちになる方法はいろいろ。何語で交流? もちろんハートで交流さ。

やまと でつろう 世界のともだち



人形劇「いっぴきチュー」を各国語で上演
高校生・大学生が中心に企画

高校生・大学生が中心に企画をすすめています。
国際交流フェスティバルに集まった人たちに、
母国語で「いっぴきチュー」「2ひきチュー」…
人形劇に参加してもらって、交流します。
さて、鳴き声は?
フルーツソングは歌いながらフルーツになりきります。
母国語でやったらどうなるか、
さあ、子どもも大人も参加して、楽しみましょう。

<これからの打ち合わせ日程>
3/7(月)、3/16(水)16:00~17:00
まだまだアイデア募集してま〜す。

『新しい公共』にまた注目が…

2/17(木)かながわ県民サポートセンターで行われた「行政とNPOの対話フォーラム'11」に
市民活動センタースタッフ2名、市役所市民活動課3名が参加し「新しい公共」関連の動きを学びました。

講演: 私たちが求める『新しい公共』とは何か

『新しい公共』関連の政府の動きと民間の動き

政府では『新しい公共』をキーワードに次々施策が打ち出されています。

これから始まろうとしている「市民公益税制」「新しい公共支援事業」の情報について、NPO側の視点からの解説を加えて整理をしました。

(市民活動課 村山)



大和市は 2002 年に市民が考えた案をもとに「新しい公共を創造する市民活動推進条例」を作りました。

『新しい公共』とは市も、市民も、市民団体も、事業者も対等にお互いの知恵や力を出しあって、地域の課題を解決することです。

大和市民活動センターはこの条例に基づいて設置、運営しています。

- 分科会1「新しい公共支援事業の3+α の事業を考える」
2011、2012 年度の 2 年間で行われる「新しい公共支援事業」を軸に、財源のしくみ・担い手の広がり・協働を広げるための仕組みの事例について解説。
- 分科会2「多様な協働事業提案制度から見てきた協働のエッセンス」
大和市からも事例発表。かながわ難民定住援助協会との協働事業の事例を発表。
- 分科会3「NPO評価で何がかわるのか」
民間が評価するNPO評価の取り組みを聞いたが、評価体制の難しさを考えさせられた。
- 分科会4「NPOと行政、そして地縁組織のつながり」
NPOと地縁団体が課題に取り組んだ取り組みを学んだが、もっと問題点を聞きたかった。
*市民活動センターに詳しい資料があります。ご利用ください。

高校生に DVD 貸出します
「大人社会へのパスポート」

～身近なマネートラブルを考えよう!～

これから社会に一步踏み出していく高校生たちが、マネートラブルに巻き込まれないための DVD を貸し出します。

制作: 中央ろうきん社会貢献基金事務局

2月4日(金)晴れ

「中央7丁目子ども会」から、手品をしてくれるボランティアを探していますと、相談の電話が入った。南京玉すだれを習っている人で手品のできる人を紹介。子ども会の代表とフリースペースにて打ち合わせ。
3/6(日)子どもたちに手品を披露することになった。子どもたちに簡単な手品を教えてあげるそうです。

連続共育セミナー (39) 回を開催します

3月29日(火) 18:00~20:00

大和市民活動センター会議室

神奈川県とマイクロソフト(株)との協働事業
「NPOパワーUPセミナー」~IT活動講座の報告~



ちょっと使ってみようかな
~IT導入の利点~

市民活動課の市川です。
ちょっとドキドキしてます。

ITを使うとどんな便利なことがあるのかということ、具体例を使って紹介をします。



持ち帰って、皆に報告を。
IT講座では寝なかった
「拠点やまと」望月です。

「サービス・プログラム」の紹介です。

- いろいろなテンプレート紹介。
チラシや集計などが挿入できます。
- ソフトウェア寄贈プログラムの紹介。
団体資格確認後ダウンロードになります。
- クラウド(SkyDrive)大容量25GBのオンラインストレージ(無料)の利用です。
マイクロソフトにサーバーやシステムを任せて、インターネット経由で共有利用できます。参加の皆さんが知っているプログラムも共有しましょう。

「健康と元気はちがう」に20人が集合

連続共育セミナー(37)回の報告

1/26(水)18:00~20:30開催しました

健康で暮らす5か条

- ・タバコは吸わない。
- ・大食いはしない…腹八分目
- ・ラジオ生活のすすめ…イメージを高める
- ・便秘の予防…食物繊維、水分を摂る
- ・抗酸化ビタミンを摂取…サプリメントで効率よく摂る

次はサプリメントに詳しいドクターを紹介します。

増田愛一郎先生



「ドイツの市民活動事情」

~カールスルーエとブレーメンを訪ねて~

連続共育セミナー(38)回の報告

市民活動課村山真弓さん 2/15(火)18:00~20:00開催しました

見てきて、感じたことは 地域の課題を「じぶんごと」にする仕組みがあった

村山さんの報告を聞きながら、短い視察出張(去年10/24~31)の旅程にもかかわらず、市行政の仕組みと市民の発想や考え方にふれ、なにか手ごたえを得てきた実り多いドイツ2都市の訪問だったように思えた。

ヨーロッパツアーなどから帰国した人たちがよく「どの街も絵はがきみたいにきれいだった」と言う。どの街も歩いていて、気持ちがよかったとも。

なぜだろう。思い出してみたら、街に自動販売機と野放図な広告と電線がなかったということ例えば発見する。そうした街の景観はその市民と市行政がつくった反映物だ。街の散歩が快適で安全が保障されるにはこうでありたいと市民が「じぶんごと」として、発言し、議論を重ね、提案をきちんとしたカタチにしていく。ここに中間支援組織の存在と出番があるようだ。

今回、村山さんは美しい風景を守ることは幸せのひとつとする「草原の果樹保護協会」を訪ね、行政、企業と協働するその中間支援組織の実力と高い経営能力を見てきた。こうした力ある「協会」は一朝一夕でできたものではないはず。次回のドイツ出張では、街づくりを「じぶんごと」にしてきた「秘密」をさぐってきてください。(レポート・小杉)

セミナーおすそ分け

「読まれる広報誌の作り方」を学んできました

2/9(水)かながわ県民サポートセンターで開催されたセミナーに参加しました。編集のプロが語る、紙面づくりの極意をほんのちょっとおすそ分けします。

- ① 見出しは究極のエッセンス
見出しをつけてから記事を書く。
(シャッターを押す前にピントを合わせるように)
- ② 短い見出しほどパワーになる
森羅万象は13文字に収まる。
- ③ リード文を大切に
見出しとリード文ができたら、それに序・破・急を盛り込む。
 - ・序…5W1H
 - ・破…詳細・補足
 - ・急…結論
- ④ ひとつの文章を短く
短い文章の方が人の頭に入る。(石川美恵子)

「センター」のある日ある時

2月10日(木)くもり

女子大生4人がセミナーの看板を見て来館。ひとは「ブレーメンはバスで通っただけ…」とあまり印象がない様子。他の3人は海外旅行をしたことがないが、グリム童話『ブレーメンの音楽隊』に詳しい。「彼等はブレーメンに行っていないのよ。知ってる?途中で住み着いちゃって…」「ぶらり旅もいいけど、目的持って旅行しなよ」この時間は若さあふれる明るいセンターでした。

